

## サンゴ礁保全行動計画策定委員会について

### 1 サンゴ礁保全行動計画策定委員会構成

委員（敬称略、アイウエオ順、○印は委員長）

- ・岩瀬文人（財団法人 黒潮生物研究財団 黒潮生物研究所 研究所長）
- ・鹿熊信一郎（沖縄県 八重山支庁 農林水産整備課 主幹）
- ・土屋 誠（琉球大学 理学部長、教授）
- ・寺崎竜雄（財団法人 日本交通公社 企画課長）
- ・中野義勝（琉球大学 熱帯生物圏研究センター 瀬底実験所 技術専門職員）
- 灘岡和夫（東京工業大学 大学院 情報工学研究科 教授）
- ・林原 毅（独立行政法人 水産総合研究センター-西海区水産研究所石垣支所 主任研究員）
- ・日高道雄（琉球大学 理学部 教授）
- ・古川恵太（国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室 室長）
- ・安村茂樹（財団法人 世界自然保護基金日本委員会）
- ・山野博哉（独立行政法人 国立環境研究所 地球環境センター 衛星観測研究所 主任研究員）

### 2 これまでの経過

#### 平成 20 年度

第 1 回サンゴ礁保全行動計画会議開催（6 月）

<主な検討事項等> 行動計画の趣旨、今後の予定の説明等

—個別の課題について、分科会を開催—

○サンゴ礁価値評価分科会（2 回開催（6 月・10 月））

<目的>

サンゴ礁の有する機能（価値）を、できうる限り客観的な評価手法を用いて評価することで、サンゴ礁保全行動計画で必要とされる行動の、必要性の基礎的な考え方を提供する。

<主な検討事項>

サンゴ礁の価値・機能のレビューと分類、サンゴ礁の価値・機能の定量的評価可否、定量的評価試算

○統合的沿岸管理分科会（5 回開催（8 月×2 回・10 月・12 月・H21 年 2 月））

<目的>

サンゴ礁保全行動計画に記載される行動を、海域に限らず陸域も含めた統合的な沿岸管理の考え方を踏まえつつ検討する。

<主な検討事項>

サンゴ礁に影響を及ぼす主な要因と対策、陸域起源負荷対策、海洋保護区、海洋レジャー、移植、オニヒトデ駆除、モニタリング

### 3 今後の予定（案）

#### 平成 20 年度

第 2 回サンゴ礁保全行動計画策定会議開催（H21 年 3 月）

<主な検討事項等> 分科会報告、行動計画構成案の検討

#### 平成 21 年度

年度内に、サンゴ礁保全行動計画を策定。

### 4 その他

環境省生物多様性センターが設置している「モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査ワーキンググループ」では、サンゴ礁劣化の現状と原因の分析評価についての検討を行っており、その成果を本計画の検討に活用することとしている。